

にぎわい創出広場等の整備について

まち全体で にぎわいをつくる

- ▼魅力的で活力のあるまちになるためには、地域の皆さんがまちに愛着をもち、まちに関わり、イキイキされていることが大切です。
- ▼魅力的で活力のあるまちになるためには、人が集まり、いろいろな活動がうまれる環境ができることが不可欠です。
- ▼今ある店舗（空き店舗）や文化施設、新たに整備する広場を最大限活用して、未来のまちづくりを担う若者や子育て世代が集いたくなる「居心地の良いたまり場」づくりに向けて、まずは周辺住民や市民が訪れる場所にしていくことで、まち全体の価値をあげ、民間の商業投資を引き出していく、好循環を目指します。

広場のコンセプト

地域の皆さんがまちと関わるキッカケとしての広場



つくる

自分たちで考え、コミュニティを育みながら居心地、使い心地の良い空間をつくる

つかう

日常的に利用する、利用できる
例えば地元の食材を調理して提供できる、子どもたちが遊べる、働くキッカケがうまれるなど

はぐくむ

広場を通じたまちへの思い入れを育む
チャレンジや成長を促す

○今後のスケジュールについて

- 5月中旬 にぎわい創出広場にて防火水槽工事開始
- 9月中旬 防火水槽工事完了
- 9月中旬 広場等の整備工事開始予定

にぎわい創出広場等の整備

まちづくりを担う人材の育成の仕掛けと仕組みを検討しながらも、にぎわい創出広場等の整備を進めていきます。

広場整備の全体像





■ ①の広場イメージ



■ ①の広場イメージ



■ ②の広場パーゴライメージ



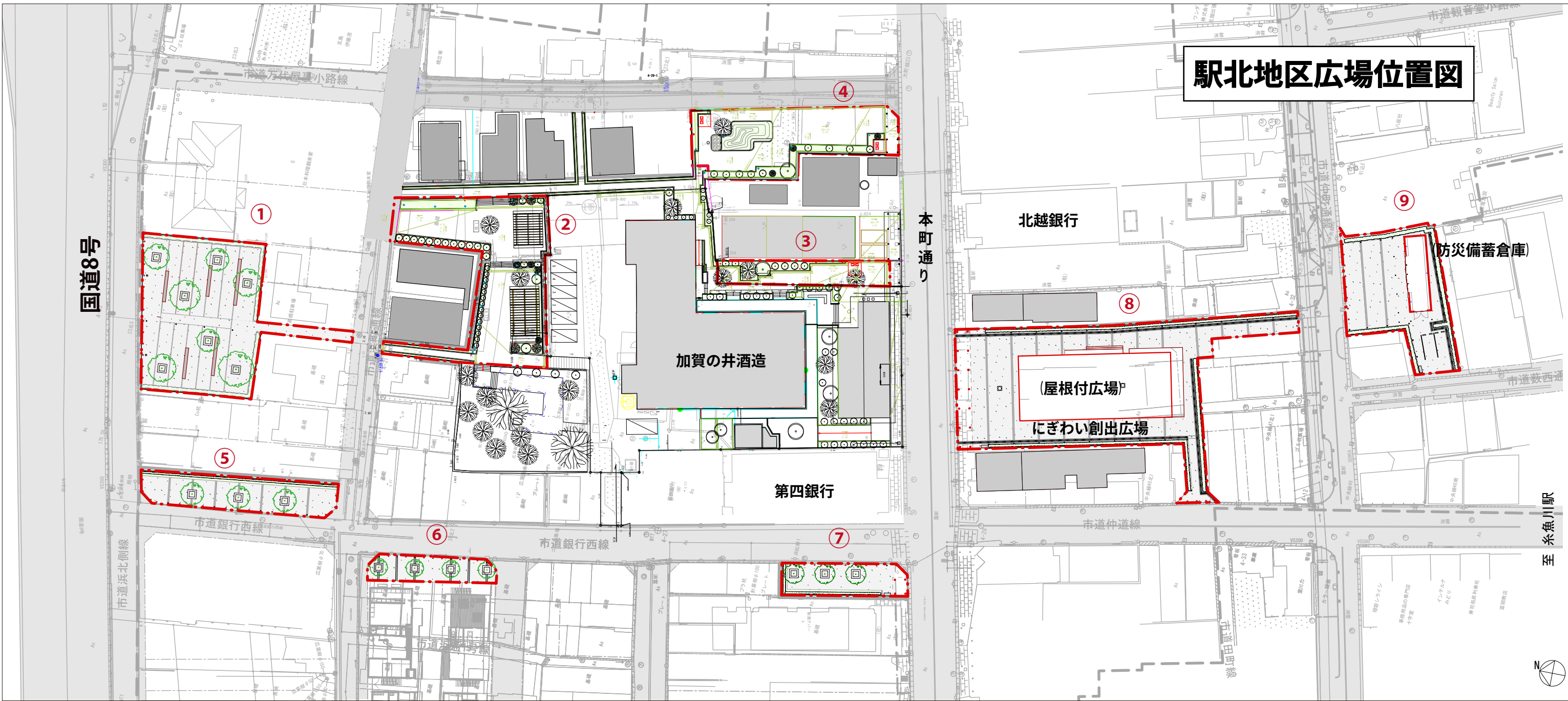
■ ②、③の広場イメージ



■ 舗装:広場全体の共通イメージ



■ ④の広場イメージ



■ ⑤、⑥、⑦の広場イメージ



■ ⑧の広場上屋外観イメージ



■ ⑧の広場上屋内部イメージ



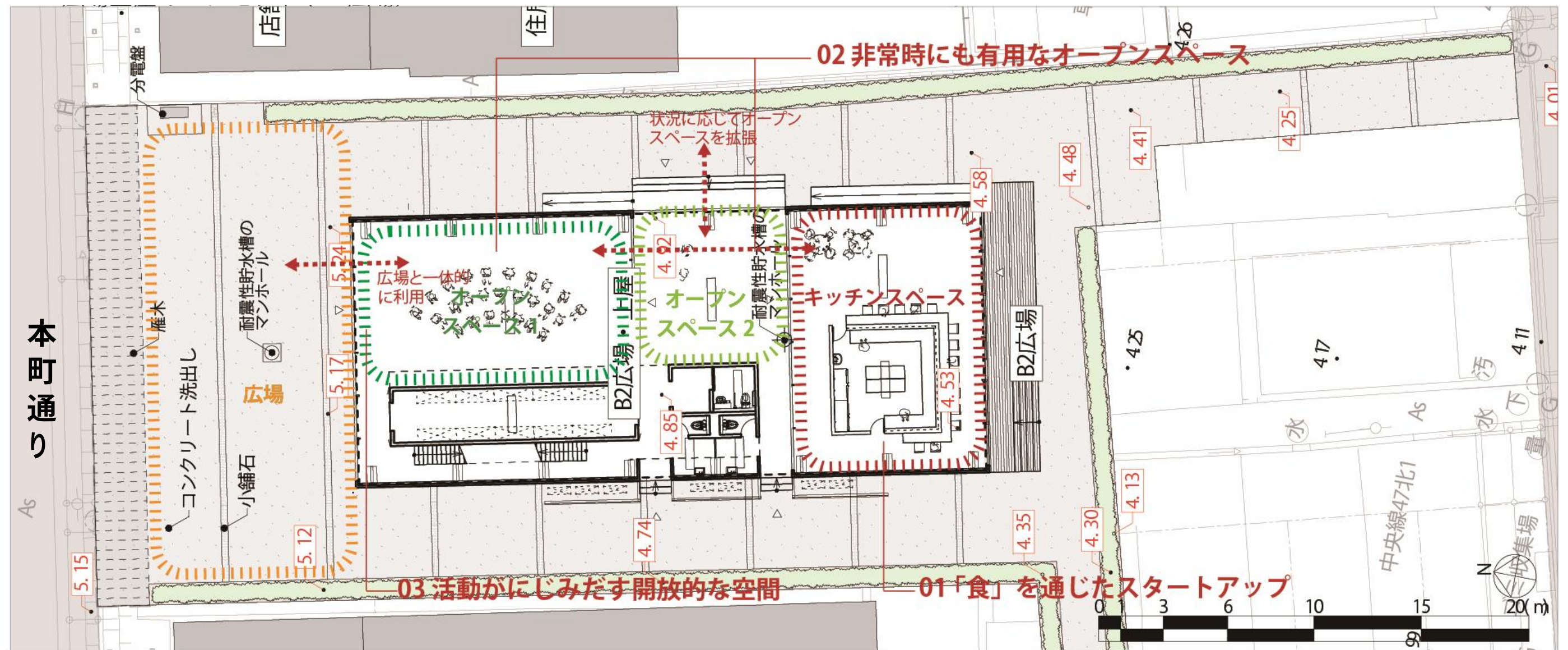
■ ⑧の広場上屋内部イメージ



■ ⑧の広場上屋内部イメージ



■ ⑨の広場上屋内部イメージ



活動がにじみだす開放的な空間

南北に向かって連なる上屋は、内部の様子が通りからうかがうことができるように、ガラス張りで広々と開け放たれ、屋内外と一体的に利用できる空間とします。



非常時にも有用なオープンスペース

イベントやサークル活動など様々な活動が、天候に左右されずに自由に開催できるように使い勝手の良いオープンスペースをつくります。非常時には一時避難場所としての利用もできるよう空間を確保します。



「食」を通じたスタートアップ

人が集まりにぎわいが生むためのセンターキッチンとしての活用、お店を始めたい人が開店までのステップアップの場となる（稼ぐ）環境として活用できるようキッチンを設け持続的な利用を促します。



欲しい暮らしは自分たちでつくる

活動に必要なものを自分たちでつくるための
D I Yスペースを設けます。広場を自分たちで
考え、つくることで愛着のある場所となり、モ
ノをつくる過程の中でコミュニケーションを育
みます。